

製品名: CD363 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82152**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	42.8kDa

抗原情報

遺伝子名	CD363
別名	S1PR1; EDG1; S1P1; ECGF1; EDG-1; CHEDG1; D1S3362
遺伝子 ID	1901.0
SwissProt ID	P21453
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD363 の精製された組み換え断片。

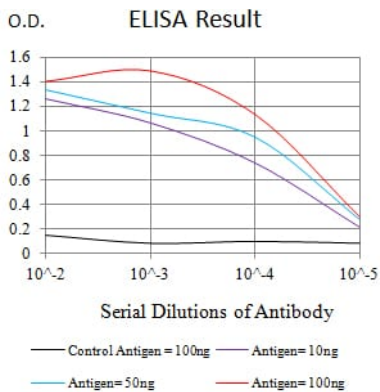
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体と構造的に類似しており、内皮細胞で高発現しています。リガンドであるスフィンゴシン-1-リン酸に高い親和性と特異性で結合し、内皮細胞の分化を制御するプロセスに関与することが示唆

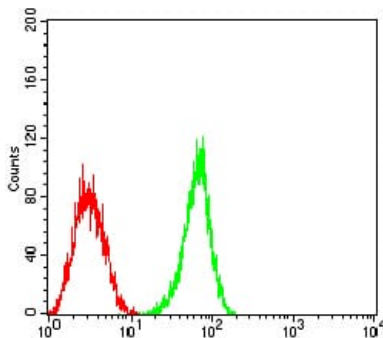
されています。この受容体の活性化は細胞間接着を誘導します。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD363 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。